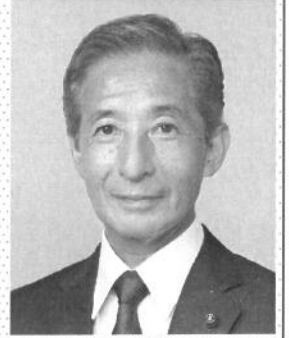


つ の い 基 議 会 報 告

第101号 発行者 角井 基 横須賀市佐野町4丁目14

E-mail motoi-ofc@jcom.home.ne.jp



コロナ禍で市税収入が大幅に減少

2月15日から3月24日まで3月定例議会が開かれました。年度末の補正予算やコロナ禍での税収減を補うための対応策、続いて新年度予算案に対する代表質問が行われ、部局別に詳細な審査が行われました。一般会計の規模はおよそ前年度並みとなりましたが、感染症対策で35億円が計上される中で、市税収入などが大幅な減収となり、それを人件費など内部管理経費の削減でカバーするなど厳しい予算となっています。審査では、猿島へのトイレ整備に3億円を要することや北九州とのフェリー就航に関する陳情などについて多くの質疑が交わされました。

ワクチンなど感染症対策に35億円

新年度予算の一般会計は、1595億円で、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策やワクチン接種などに35億円が計上され、前年度に比較して1%の増となりました。

と説明しています。

前年度で芸術劇場の巨大な借金返済が終わったのですが、新たに中学校給食の実施で運営費に7億円が増えています。歳入では、地方交付税が29億円減の107億円、国庫支出金は32億円増えて290億

猿島にトイレ新設で3億円

猿島を訪れる観光客が増えて、年間22万人にもなっています。そのため、現在ある管理棟のトイレでは、女性用に長蛇の列ができてしまうことが多く、それを解消するため、トイレを新設する工事が計上されました。

しかし、設置の費用が2年間の継続で3億円ということから、額の高さをめぐって多くの質疑が交わされました。

既設のトイレは7万人程度を見込んで作られており、新たに男性用に大1・小1、女性用に

6、多目的トイレを1、設置するとしています。浄化施設を置き、地盤改良や土留めの工事もあり、離島ということもあって積算すると、この額になると説明しています。

予算決算常任委員会の総括質疑では、トイレ新設に6千万円、地盤改良等に5千万円、浄化槽に9千万円、資材運搬に1億円を要するとの答があり、現在の入島料200円を増額すべきとの提案に対して、検討するとの答弁もありました。



設置が予定される猿島封鎖の付近

実際の工事費は入札で決まり、必ずしもこのままの額ではないのですが、工法や運搬方法の見直しによるコストの削減など、市民の理解を得られるような努力を願いたいものです。

円にもなっています。市債は242億円で57億円の増。このうち臨時財政対策債が122億円と著しく増えています。国の財源不足から地方交付税を振り替えた措置です。

歳出では、人件費が8億円減っている他、費目別では感染症対策などで民生費が14億円、衛生費が30億円の増となり、その一方で土木費は7億円、消防費が5億円減っています。

税収の落ち込みが激しく、厳しい財政状況の中で、困難を極めた予算編成となっています。

中学校給食の開始へ施設整備・運営に25億円

感染症対策としては、ワクチン接種の26億円をはじめとして、PCR検査等の公費負担・患者の移送、検査体制の確保、子育て関連施設の感染防止などに35億円が計上されています。

新年度の最重点施策のうち主なものを挙げると、追浜・中央・久里浜地域での市街地再開発事業の促進に約3億円、新市立病院の実施設計に2億円弱、介護施設の整備支援に9億円、職員厚生会館をリニューアルして整備される(仮称)中央子ども園などの整備に2年間継続で8億円、保育士の処遇改善や宿舍借り上げ等に2

新年度予算の概要は

つ の い 基 ホーム ページ で

毎年4月に開いている「つ の い 基 と 街 づ け り を 語 る 会」は、感染防止対策で中止しますが、予算の概要はホームページをご覧ください。



「つ の い」で検索!

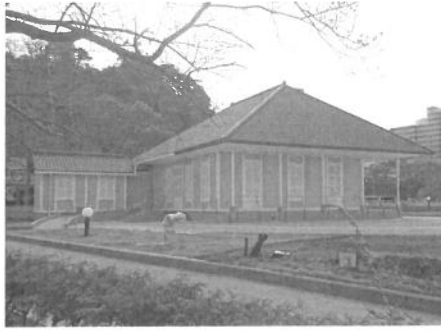


新型コロナウイルス接種開始は4月中旬以降に

ワクチン接種は、地域の医療機関などでの個別接種が主体で、横須賀アリーナとさいか屋で集団接種が行われます。接種は予約制で、受付は接種券が市民に配付されてから始まる予定です。

しかし、本市に届く数は4月に約3千回分で、見込みよりもたいへん少なく、今現在は4月12日以降とされているのみであり、具体的な日程は未定です。(3月26日現在)

ティポデイエ邸が5月下旬に開館へ ヴェルニー公園にルートミュージアムの拠点施設



市内各所に点在している観光地を周遊する「ルートミュージアム」の拠点として、ヴェルニー公園にティポデイエ邸を復元したガイダンスセンターの建設工

事が進められていましたが、5月下旬に開館する予定となりました。

運営はヴェルニー公園と一体で、指定管理者によって行われ、4名のスタッフが配置されます。館内やルートミュージアムの案内と解説、ガイダンスシアターでのティポデイエ邸ムービーの上映などを行います。

定員23名のガイダンスシアターでは、観光プロモーションや音楽紹介などの動画が上映されます。このうち、約130年前の横須賀造船所を3DCG映像で表現し、アテンダントの案内で巡る約10分間の体験型ムービー

の観覧は有料となります。

この体験型ムービーは、アテンダントとの掛け合いも大きな魅力で、観覧料を指定管理者の収入とする利用料金制を導入することによって、運営努力を促し、多くの方に来館してもらえ、魅力ある展示施設を目指すということです。

観覧料は、市長の承認を受けて定められますが、一般200円、高校生以下無料、身体障害者等の減免、団体割引等と予定されています。

管理運営の予算としては、新年度予算に約3千万円が計上されています。今現在、記念艦三

無許可での浮き棧橋設置など 市の対応をめぐって陳情

芦名漁港における市の築いた消波ブロックの持ち去り、海面の不法使用などに対する市の対応について小林議員が個人質問で取り上げ、議会に陳情も出されました。

その概要は、①天神島周辺の天然記念物区域内での漁協による消波堤の設置にあたり、県に報告せず許可した点については、適切でなかったと教育委員会が認めた。②市が設

置したテトラポットを持ち去り、消波堤に使用したことについて、市が事業者に現状回復を求めている。③海面に多くの杭を打ち、浮き棧橋を無許可で設置した点について

は、前面のマンションから浮き棧橋を造らないよう要望が出されたが、市としては法的には問題のないことから申請が出されれば許可せざるを得ず、事業者との協議・円満解決で審査終了となりました。

決を目ざしたため、許可が後になってしまった。ということとです。

都市整備常任委員会での陳情審査では、これまでの事実関係や市側の考え方について多くの質疑が行われ、担当部は事業者に対しては引き続きしっかり指導し、6月定例議会には市としての調査結果を報告すると答えています。

表決では、市側の不適切な対応を遺憾とつとも、調査結果を注視したいとの意見が出され、結果としては意見不一致で審査終了となりました。

笠や軍港めぐりなどのコラボチケット、観光事業者による定期観光ツアーの誘致、市内団体を対象とした無料施設ガイドツアーなどを検討・調整しているとのこと。

点在する観光拠点との連携がポイントだが

ところで、ルートミュージアムは、ティポデイエ邸と「サテライト施設」とした市内の観光地との間をどのように結び、実際に観光客にまわってもらうようにするのか、その点が最も重要なポイントとなります。

議会では前々から、その点が指摘されているのですが、残念ながら未だに具体策が見えてきません。1年後にどのような形

都市整備常任委員会では、北九州とのフェリー就航について、利害関係者や住民を軽視しており、ターミナル建設工事の一時中止を求める旨の陳情が審査されました。

北九州フェリー就航で協議会を設置

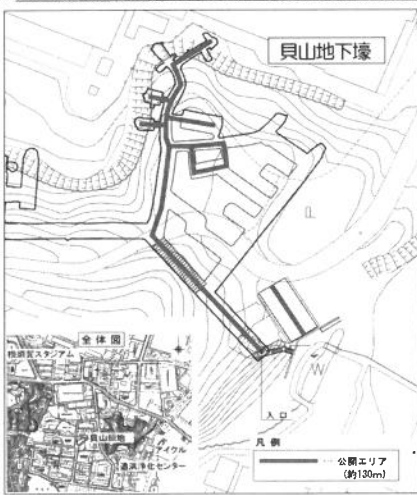
市では、これまでの事務執行に問題は無いとし、「昨年の12月議会以降も周辺の町内会に対して交通量や騒音など環境問題の調査結果を説明しており、今後も順次報告する。就航計画は本市の地域経済活性化の柱となる事業で、関連する工事は継続して進めたいと思います。」

3月には町内会からの要望でフェリー就航に関する協議会が設置され、話し合いを継続していくとしています。

委員会では、これまでの経過に対する質疑が行われ、だが、事業者との話し合いや町内会への説明会など市側の対応の遅さ、まずさが厳しく指摘されました。表決では、陳情趣旨には概ね理解しつつも、工事の中止までは求めず、結果としては、意見がまとまらずに審査終了となりました。

貝山地下壕・走水低砲台跡を公開

ルートミュージアム整備事業の一環として、サテライト施設である貝山地下壕と走水低砲台跡の整備工事が完了しました。



貝山地下壕は、追浜浄化センターに隣接する貝山緑地の地下にあり、戦前には海軍航空隊があつた場所で、海軍施設の避難・防衛のために掘られ、物資や兵器がおかれていました。

貴重な戦争遺跡であり、落石などへの安全対策や電気設備が整備され、公開に向けたガイド養成もされています。

走水低砲台跡は、走水小学校の入口にある旗山崎公園にあります。



明治時代に首都を守る東京湾要塞の一つとして建設され、27センチ砲が据え付けられていた砲座跡や弾薬庫などのレンガ積み構造物を見学できます。ベンチや転落防止柵の設置、園路の補修などが行われ、土日・祝日の限定で見学でき、入場は無料です。平日は、ガイド付きであれば入場可能です。